

PATENT APPLICATION

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

<i>Group</i>				<u>Certificate Under 37 CFR 1.10</u>
<i>Art Unit:</i>	Unknown			{ 'EXPRESS MAIL' MAILING LABEL NO:
<i>Attorney</i>				{ EL697545415US
<i>Docket No.:</i>	121027-199			{ DATE OF DEPOSIT: September 24, 2003
<i>Applicant:</i>	Hikari KAWATA et al.			{ I HEREBY CERTIFY THAT THIS PAPER OR FEE IS
<i>Invention:</i>	DISPOSABLE	BODY	FLUID	{ BEING DEPOSITED WITH THE UNITED STATES
	ABSORBENT PAD			{ POSTAL SERVICE "EXPRESS MAIL POST OFFICE
<i>Serial No.:</i>	Unknown			{ TO ADDRESS" SERVICE UNDER 37 CFR 1.10 ON
<i>Filing Date:</i>	September 24, 2003			{ THE DATE INDICATED ABOVE AND IS
<i>Examiner:</i>	Unknown			{ ADDRESSED TO THE COMMISSIONER FOR
				{ PATENTS, P.O. BOX 1450, ALEXANDRIA, VA
				{ 22313-1450.
				{ on September 24, 2003


Michael S. Gzybowski

CLAIM OF PRIORITY

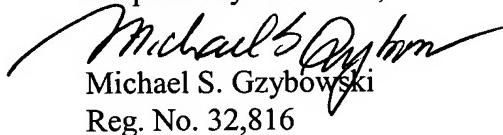
Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

Sir:

In accordance with the provisions of 35 U.S.C. 119, applicants hereby claim priority of:
Japanese Patent Application No. 2002-283242
Filed September 27, 2002

A certified copy of the above priority document is being submitted herewith.

Respectfully submitted,


Michael S. Gzybowski
Reg. No. 32,816

BUTZEL LONG
350 South Main Street
Suite 300
Ann Arbor, Michigan 48104
(734) 995-3110

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日
Date of Application: 2002年 9月27日

出願番号
Application Number: 特願2002-283242

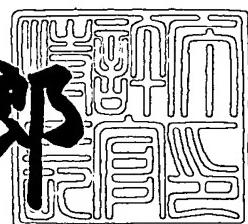
[ST.10/C]: [JP2002-283242]

出願人
Applicant(s): ユニ・チャーム株式会社

2003年 5月23日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証特2003-3038322

【書類名】 特許願

【整理番号】 SL14P098

【提出日】 平成14年 9月27日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 A41B 13/00
A61F 13/00

【発明の名称】 使い捨て体液吸収パッド

【請求項の数】 9

【発明者】

【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀1531-7 ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内

【氏名】 河田 ひかり

【発明者】

【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀1531-7 ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内

【氏名】 中下 将志

【発明者】

【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀1531-7 ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内

【氏名】 山内 香

【特許出願人】

【識別番号】 000115108

【氏名又は名称】 ユニ・チャーム株式会社

【代理人】

【識別番号】 100066267

【弁理士】

【氏名又は名称】 白浜 吉治

【電話番号】 03(3592)0171

【選任した代理人】

【識別番号】 100108442

【弁理士】

【氏名又は名称】 小林 義孝

【電話番号】 03(3592)0171

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006264

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9904036

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 使い捨て体液吸收パッド

【特許請求の範囲】

【請求項1】 肌当接側に位置する透液性表面シートと、肌非当接側に位置する不透液性裏面シートと、それらシートの間に介在する吸液性コアとから構成され、横方向へ延びる両端縁部と、縦方向へ延びる両側縁部とを有する縦長の使い捨て体液吸收パッドにおいて、

前記パッドが、その着用時に、着用者の腹部の側に位置する前域および臀部の側に位置する後域と、着用者の股間部に位置する中間域とを有し、前記パッドを縦方向へ引っ張ることが可能な帶片が、前記前域の端縁部から縦方向外方へ延び、前記帶片が、前記両側縁部に位置して肌当接側に固着された内側固定部と、前記内側固定部の間に延びる把持部とを有することを特徴とする前記パッド。

【請求項2】 前記帶片が、前記両側縁部の一方に配置されて前記前域の端縁部から縦方向外方へ延びる第1帶片と、前記両側縁部の他方に配置されて前記前域の端縁部から縦方向外方へ延びる第2帶片とから形成され、前記第1帶片が、前記両側縁部の一方に位置して肌当接側に固着された内側固定部と、前記両側縁部の一方に位置して肌非当接側に固着された外側固定部と、前記内側固定部と前記外側固定部との間に延びる把持部とを有し、前記第2帶片が、前記両側縁部の他方に位置して肌当接側に固着された内側固定部と、前記両側縁部の他方に位置して肌非当接側に固着された外側固定部と、前記内側固定部と前記外側固定部との間に延びる把持部とを有する請求項1記載のパッド。

【請求項3】 前記帶片の内側固定部が、前記両側縁部に沿って前記前域の端縁部から前記後域の端縁部に向かって延びている請求項1または請求項2に記載のパッド。

【請求項4】 前記パッドの両側縁部に沿って縦方向へ延びる弾性部材が、前記パッドの前後域と中間域とのうちの少なくとも該中間域に収縮可能に取り付けられ、前記帶片の内側固定部が、前記弾性部材の収縮によって縦方向内方へ縮んでいる請求項3記載のパッド。

【請求項5】 前記帶片が、弹性的な伸縮性を有し、前記帶片の内側固定部

が、前記パッドの肌当接側に収縮可能に固着されている請求項3記載のパッド。

【請求項6】 前記中間域における前記コアの表裏面シート間の厚み寸法が、前記前後域における前記コアのそれよりも小さい請求項1ないし請求項5いずれかに記載のパッド。

【請求項7】 前記中間域における前記コアの両側縁間の横寸法が、前記後域における前記コアのそれよりも小さい請求項1ないし請求項6いずれかに記載のパッド。

【請求項8】 前記パッドの後域には、縦方向へ延びる止着テープが配置され、前記止着テープが、前記後域の肌非当接側に固着された固着部と、前記後域の端縁部から縦方向外方へ延びていて前記パッドの肌非当接側に着脱可能な自由部とを有する請求項1ないし請求項7いずれかに記載のパッド。

【請求項9】 前記パッドでは、前記前域と前記後域とが互いに当接するように、前記表面シートを内側にして前記中間域が縦方向へ二つに折り畳まれ、前記止着テープの自由部が前記パッドの前域における肌非当接側に剥離可能に仮着されて該パッドの折り畳まれた状態が維持されている請求項8記載のパッド。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、使い捨て体液吸收パッドに関する。

【0002】

【従来の技術】

肌当接側に位置する透液性表面シートと肌非当接側に位置する不透液性裏面シートとの間に吸液性コアが介在し、横方向へ延びる両端縁部と、縦方向へ延びる両側縁部とを有する縦長の使い捨て体液吸收パッドは公知である（特許文献1参照）。

【0003】

特許文献1に開示のパッドは、その着用時に、着用者の腹部の側に位置する前域および臀部の側に位置する後域と、着用者の股間部に位置する中間域とを有する。このパッドの裏面シートには、環状の細長いゴムが取り付けられている。ゴ

ムは、パッドの中間域における横方向中央に配置されている。ゴムは、縦方向両端部が裏面シートの外面に固着され、両端部間に延びる中央部が裏面シートの外面から遊離している。このパッドは、パンツの内側にのせてパンツとともに着用する。このパッドは、裏面シートの外面に取り付けられたゴムがパンツの内側に接するので、ゴムが滑り止めとなってパンツに対するパッドのずれを防ぐことができる。

【0004】

【特許文献1】

特開2002-119528号公報（第2-3頁、第1図）

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

特許文献1に開示のパッドは、その着用時にパッドをパンツにのせるだけなので、パッドそれ自体が着用者の肌に密着することではなく、パンツを介してパッドを着用者の肌に密着させる必要がある。このパッドは、パンツが着用者の股間部からずれ下がると、それにともなってパッドも股間部からずれ下がり、パッドが着用者の肌から離間してパッドに体液を吸収させることができない。また、このパッドは、パンツとともに着用しなければならぬので、特に寝たきりの着用者にパッドを着用させる場合、パンツを着用させた後にパッドをパンツの内側にのせなければならず、パッドの着用に手間を要する。

【0006】

本発明の課題は、着用に手間を要せず、パンツを介さずに着用者の肌に密着させることができる使い捨て体液吸収パッドを提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決するための本発明の前提是、肌当接側に位置する透液性表面シートと、肌非当接側に位置する不透液性裏面シートと、それらシートの間に介在する吸液性コアとから構成され、横方向へ延びる両端縁部と、縦方向へ延びる両側縁部とを有する縦長の使い捨て体液吸収パッドである。

【0008】

前記前提における本発明の特徴は、前記パッドが、その着用時に、着用者の腹部の側に位置する前域および臀部の側に位置する後域と、着用者の股間部に位置する中間域とを有し、前記パッドを縦方向へ引っ張ることが可能な帶片が、前記前域の端縁部から縦方向外方へ延び、前記帶片が、前記両側縁部に位置して肌当接側に固着された内側固定部と、前記内側固定部の間に延びる把持部とを有することにある。

【0009】

本発明は以下の実施態様を有する。

(1) 前記帶片が、前記両側縁部の一方に配置されて前記前域の端縁部から縦方向外方へ延びる第1帶片と、前記両側縁部の他方に配置されて前記前域の端縁部から縦方向外方へ延びる第2帶片とから形成され、前記第1帶片が、前記両側縁部の一方に位置して肌当接側に固着された内側固定部と、前記両側縁部の一方に位置して肌非当接側に固着された外側固定部と、前記内側固定部と前記外側固定部との間に延びる把持部とを有し、前記第2帶片が、前記両側縁部の他方に位置して肌当接側に固着された内側固定部と、前記両側縁部の他方に位置して肌非当接側に固着された外側固定部と、前記内側固定部と前記外側固定部との間に延びる把持部とを有する。

(2) 前記帶片の内側固定部が、前記両側縁部に沿って前記前域の端縁部から前記後域の端縁部に向かって延びている。

(3) 前記パッドの両側縁部に沿って縦方向へ延びる弾性部材が、前記パッドの前後域と中間域とのうちの少なくとも該中間域に収縮可能に取り付けられ、前記帶片の内側固定部が、前記弾性部材の収縮によって縦方向内方へ縮んでいる。

(4) 前記帶片が、弹性的な伸縮性を有し、前記帶片の内側固定部が、前記パッドの肌当接側に収縮可能に固着されている。

(5) 前記中間域における前記コアの表裏面シート間の厚み寸法が、前記前後域における前記コアのそれよりも小さい。

(6) 前記中間域における前記コアの両側縁間の横寸法が、前記後域における前記コアのそれよりも小さい。

(7) 前記パッドの後域には、縦方向へ延びる止着テープが配置され、前記止着

テープが、前記後域の肌非当接側に固着された固着部と、前記後域の端縁部から縦方向外方へ延びていて前記パッドの肌非当接側に着脱可能な自由部とを有する。

(8) 前記パッドでは、前記前域と前記後域とが互いに当接するように、前記表面シートを内側にして前記中間域が縦方向へ二つに折り畳まれ、前記止着テープの自由部が前記パッドの前域における肌非当接側に剥離可能に仮着されて該パッドの折り畳まれた状態が維持されている。

【0010】

【発明の実施の形態】

添付の図面を参照し、本発明に係る使い捨て体液吸収パッドの詳細を説明すると、以下のとおりである。

【0011】

図1、2は、一例として示すパッド1Aの部分破断斜視図と、図1のI—I—I—I線矢視断面図とであり、図3は、図1のIII—III—I—I—I線矢視断面図とである。図1では、横方向を矢印X、縦方向を矢印Yで示し、厚み方向を矢印Zで示す。なお、表裏面シート2、3の内面とは、コア4に対向する面をいい、それらシート2、3の外面とは、コア4に非対向の面をいう。

【0012】

パッド1Aは、肌当接側に位置する透液性表面シート2と、肌非当接側に位置する不透液性裏面シート3と、表裏面シート2、3の間に介在する吸液性コア4とから構成されている。パッド1Aは、縦方向へ長く、コア4の両端縁4aの外側に位置して横方向へ延びる両端縁部5、6と、コア4の両側縁4bの外側に位置して縦方向へ延びる両側縁部7、8とを有する。

【0013】

パッド1Aは、その着用時に、着用者30の腹部31の側に位置する前域9と、着用者30の臀部33の側に位置する後域11と、着用者30の股間部32に位置する中間域10とを有する(図5参照)。パッド1Aは、中間域10における両側縁部7、8間の横寸法が前後域9、11における両側縁部7、8間の横寸法よりも小さく、その平面形状が実質的に砂時計型を呈する。パッド1Aには、

それを縦方向へ引っ張ることが可能な一对の带片12a, 12bと、着用前のパッド1Aの折り畳まれた状態（図4参照）を維持するための止着テープ13とが取り付けられている。

【0014】

中間域10の両側縁部7, 8には、縦方向へ延びる複数条の伸縮性弹性部材14が収縮可能に取り付けられている。弹性部材14は、表面シート2と裏面シート3との間に介在し、それらシート2, 3の内面に固着されている。図1では、弹性部材14が縦方向内方へ収縮し、パッド1Aが表面シート2を内側にして縦方向へ湾曲している。

【0015】

带片12a, 12bは、一方の側縁部7に配置されて前域9の端縁部5から縦方向外方へ延びる第1带片12aと、他方の側縁部8に配置されて前域9の端縁部5から縦方向外方へ延びる第2带片12bとから形成されている。それら带片12a, 12bには、非伸縮性の纖維不織布が使用されている。それら带片12a, 12bは、実質的に環を形成している。

【0016】

第1带片12aは、側縁部7に位置して表面シート2の外面（肌当接側）に固着された第1内側固定部15と、側縁部7に位置して裏面シート3の外面（肌非当接側）に固着された第1外側固定部16と、第1内側固定部15と第1外側固定部16との間に延びる第1把持部17とを有する。第2带片12bは、側縁部8に位置して表面シート2の外面（肌当接側）に固着された第2内側固定部18と、側縁部7に位置して裏面シート3の外面（肌非当接側）に固着された第2外側固定部19と、第2内側固定部18と第2外側固定部19との間に延びる第2把持部20とを有する。

【0017】

第1および第2内側固定部15, 18は、パッド1Aの両側縁部7, 8に沿って、前域9から中間域10に向かって延びている。それら内側固定部15, 18を表面シート2に固着するときは、弹性部材14を縦方向外方へ伸長させた状態にある。中間域10では、それら带片12a, 12bの内側固定部15, 18が

弾性部材14の収縮によって縦方向内方へ縮んでいる。第1および第2外側固定部16, 19は、前域9に位置している。それら内側固定部15, 18とそれら外側固定部16, 19とは、ホットメルト型接着剤（図示せず）を介して表裏面シート2, 3に固着されている。表裏面シート2, 3に対するそれら固定部15, 16, 18, 19の固着には、接着剤の他に、熱融着手段を利用することもできる。

【0018】

コア4は、パッド1Aの前後域9, 11間に延び、表裏面シート2, 3の内面に接合されている。コア4は、中間域10における表裏面シート2, 3間の厚み寸法L1が前後域9, 11における表裏面シート2, 3間の厚み寸法L2, L3よりも小さく、パッド1Aの前後域9, 11と中間域10においてコア4に段差21が形成されている（図2参照）。コア4は、パッド1Aの中間域10における両側縁4b間の横寸法L4が前後域9, 11における両側縁4b間の横寸法L5よりも小さく（図3参照）、その平面形状が実質的に砂時計型を呈する。

【0019】

両端縁部5, 6では、コア4の両端縁4aから縦方向外方へ延びる表裏面シート2, 3の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート2, 3の内面どうしが固着されている。両側縁部7, 8では、コア4の両側縁4bから横方向外方へ延びる表裏面シート2, 3の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート2, 3の内面どうしが固着されている。

【0020】

止着テープ13は、パッド1Aの後域11に配置されて縦方向へ延びている。止着テープ13は、裏面シート3の外面（肌非当接側）に固着された固着部13aと、後域11の端縁部6から縦方向外方へ延びる自由部13bとを有する。自由部13bには、粘着剤（図示せず）が塗布されている。止着テープ13は、可撓性を有するプラスチックフィルムが使用されている。

【0021】

表裏面シート2, 3どうしの固着、表裏面シート2, 3に対する弾性部材14の固着、表裏面シート2, 3に対するコア4の接合には、それらシート2, 3の

内面に断続的に塗布されたホットメルト型接着剤（図示せず）が使用されている。接着剤は、それらシート2，3の内面にスパイラル状やジグザグ状、ドット状、縞状のうちのいずれかの態様で塗布されている。なお、接着剤は、表裏面シート2，3のいずれか一方の内面に塗布されていてもよい。

【0022】

図4，5は、折り畳んだ状態にある着用前のパッド1Aの斜視図と、着用状態にあるパッド1Aの斜視図であり、図6は、廃棄するために折り畳まれた着用後のパッド1Aの斜視図である。図5では、仰向けに寝た着用者30を二点鎖線で示す。

【0023】

着用前のパッド1Aは、図4に示すように、前域9と後域11とが互いに当接するように、表面シート2を内側にして中間域10が縦方向へ二つに折り畳まれている。前域9における裏面シート3の外面（肌非当接側）には、止着テープ13の自由部13bが粘着剤を介して剥離可能に仮着されている。パッド1Aは、止着テープ13によってその折り畳まれた状態が維持されている。

【0024】

パッド1Aを使用するには、止着テープ13の自由部13bを裏面シート3の外面から剥がし、前後域9，11が互いに離間するように、前後域9，11を縦方向へ展開する。パッド1Aを着用させる一例としては、介護者が仰向けに寝ている着用者30の臀部33を持ち上げ、臀部33の下にパッド1Aの後域11を位置させた後、着用者30の臀部33を後域11の上に降ろす。次に、パッド1Aの前域9を着用者30の腹部31の側に旋回させる。パッド1Aは、図5に示すように、中間域10で折れ曲がり、前域9が着用者30の腹部31に当接し、後域11が着用者30の臀部33に当接するとともに、中間域10が着用者30の股間部32に当接する。

【0025】

パッド1Aは、それを着用した着用者30が第1および第2帶片12a，12bの把持部17，20を両手34で持ち、それら帶片12a，12bを矢印Y1で示す縦方向外方へ引っ張ることで、パッド1Aの前後域9，11と中間域10

とを肌に密着させることができ、排泄時にパッド1Aに体液を確実に吸収させることができる。

【0026】

パッド1Aは、それら帶片12a, 12bを縦方向外方へ引っ張ることで、弾性部材14が縦方向へ伸長するとともに、パッド1Aの中間域10における両側縁部7, 8が着用者30の肌に密着するので、パッド1Aの両側縁部7, 8からの体液の漏れを防ぐことができる。パッド1Aは、第1帶片12aまたは第2帶片12bの引っ張る力を加減することによって、パッド1Aの両側縁部7, 8の肌に対する密着の程度を調節することができる。

【0027】

パッド1Aは、従来技術のそれと異なり、パンツを介してパッド1Aを肌に密着させる必要はない。パッド1Aは、その着用時に、それをパンツにのせてパンツとともに着用する必要はなく、パッド1Aの後域11を着用者30の臀部33の下に敷くだけなので、パッド1Aを簡単に着用させることができ、特に寝たきりの着用者30の体液処理用として好適である。

【0028】

パッド1Aは、その前後域9, 11と中間域10においてコア4に段差21が形成されているので、帶片12a, 12bを縦方向外方へ強く引っ張ったとしても、後域11におけるコア4が着用者30の股間部32に引っ掛かり、パッド1Aが着用位置から外れてしまうことはない。パッド1Aは、その中間域10におけるコア4の横寸法L4が前後域9, 11におけるコア4のそれよりも小さいので、帶片12a, 12bを縦方向外方へ強く引っ張ったとしても、後域11におけるコア4が着用者30の股間部32に引っ掛かり、パッド1Aが着用位置から外れてしまうことはない。

【0029】

体液で汚れたパッド1Aを廃棄するには、図6に示すように、パッド1Aを着用位置から取り外し、表面シート2を内側にした状態でパッド1Aを後域11から前域9に向かって縦方向へ折り畳んだ後、それら帶片12a, 12bの把持部17, 20を折り畳まれたパッド1Aの外周面にかける。パッド1Aは、帶片1

2a, 12b の把持部 17, 20 を介してその折り畳まれた状態が維持されるので、パッド 1A を折り畳んだ状態のまま廃棄することができる。

【0030】

図7, 8は、他の一例として示すパッド 1B の部分破断斜視図と、図7のV I I I - V I I I 線矢視断面図とであり、図9は、図7のIX - IX 線矢視断面図である。図7では、横方向を矢印X、縦方向を矢印Yで示し、厚み方向を矢印Zで示す。

【0031】

パッド 1B は、透液性表面シート 2 と不透液性裏面シート 3との間に吸液性コア 4 が介在し、両端縁部 5, 6 および両側縁部 7, 8 と、着用者 30 の腹部 31 の側に位置する前域 9 および臀部 33 の側に位置する後域 11 と、着用者 30 の股間部 32 に位置する中間域 10 とを有する。パッド 1B は、中間域 10 における両側縁部 7, 8 間の横寸法が前後域 9, 11 における両側縁部 7, 8 間の横寸法よりも小さい。パッド 1B には、それを縦方向へ引っ張ることが可能な第1および第2帶片 12a, 12b と、着用前のパッド 1B の折り畳まれた状態を維持するための止着テープ 13 とが取り付けられている。

【0032】

第1および第2帶片 12a, 12b は、両側縁部 7, 8 に配置されて前域 9 の端縁部 5 から縦方向外方へ延びている。第1帶片 12a は、側縁部 7 に位置して表面シート 2 の外面に固着された第1内側固定部 15 と、側縁部 7 に位置して裏面シート 3 の外面に固着された第1外側固定部 16 と、それら固定部 15, 16 の間に延びる第1把持部 17 とを有する。第2帶片 12b は、側縁部 8 に位置して表面シート 2 の外面に固着された第2内側固定部 18 と、側縁部 8 に位置して裏面シート 3 の外面に固着された第2外側固定部 19 と、それら固定部 18, 19 の間に延びる第2把持部 20 とを有する。それら帶片 12a, 12b には、彈性的な伸縮性を有する纖維不織布が使用されている。それら帶片 12a, 12b は、実質的に環を形成している。

【0033】

第1および第2内側固定部 15, 18 は、パッド 1B の両側縁部 7, 8 に沿つ

て、前域9の端縁部5から後域11の端縁部6に向かって延びている。第1および第2外側固定部16, 19は、前域9に位置している。それら内側固定部15, 18は、表面シート2の外面に伸長状態で取り付けられ、縦方向へ伸縮可能である。それら外側固定部16, 19は、裏面シート3の外面に非伸長状態で取り付けられている。図7では、帯片12a, 12bの内側固定部15, 18が縦方向内方へ収縮し、パッド1Bが表面シート2を内側にして縦方向へ湾曲している。

【0034】

コア4は、パッド1Bの前後域9, 11間に延び、表裏面シート2, 3の内面に接合されている。コア4の表裏面シート2, 3間の厚み寸法は、パッド1Bの前後域9, 11と中間域10とで略同一である。コア4は、パッド1Bの中間域10における両側縁4b間の横寸法L4が前後域9, 11における両側縁4b間の横寸法L5よりも小さい。両端縁部5, 6では、表裏面シート2, 3の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート2, 3の内面どうしが固着されている。両側縁部7, 8では、表裏面シート2, 3の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート2, 3の内面どうしが固着されている。止着テープ13は、パッド1Bの後域11における裏面シート3の外面に取り付けられている。

【0035】

使用前のパッド1Bの折り畳まれた状態とパッド1Bの着用状態とは、図4, 5のそれらと同一であり、パッド1Bを廃棄するために折り畳んだ状態は、図6のそれと同一であるので、それらの説明は省略する。

【0036】

パッド1Bは、それを着用した着用者30が第1および第2帯片12a, 12bの把持部17, 20を両手34で持ち、それら帯片12a, 12bを縦方向外方へ引っ張ることで、パッド1Bの前後域9, 11と中間域10とを肌に密着させることができ、排泄時にパッド1Bに体液を確実に吸収させることができる。パッド1Bは、それを縦方向外方へ引っ張ると、帯片12a, 12bの内側固定部15, 18が縦方向へ伸長するとともに、内側固定部15, 18が着用者30の肌に密着するので、パッド1Bの両側縁部7, 8からの体液の漏れを防ぐこと

ができる。

【0037】

パッド1Bは、帯片12a, 12bの内側固定部15, 18が前後域9, 11間に延びているので、それら帯片12a, 12bを引っ張ることによって、パッド1Bの前域9のみならず、中間域10と後域11とが縦方向外方へ引っ張られ、前後域9, 11と中間域10とを着用者30の肌に確実に密着させることができる。パッド1Bは、第1帯片12aまたは第2帯片12bの引っ張る力を加減することによって、それら帯片12a, 12bの内側固定部15, 18とともにパッド1Bの両側縁部7, 8の肌に対する密着の程度を調節することができる。

【0038】

パッド1Bは、その着用時に、それをパンツにのせてパンツとともに着用する必要はなく、パッド1Bの後域11を着用者30の臀部33の下に敷くだけなので、パッド1Bを簡単に着用させることができる。

【0039】

図10, 11は、他の一例として示すパッド1Cの部分破断斜視図と、図10のX I-X I線矢視断面図とであり、図12は、図10のX II-X II線矢視断面図である。図10では、横方向を矢印X、縦方向を矢印Yで示し、厚み方向を矢印Zで示す。

【0040】

パッド1Cは、透液性表面シート2と不透液性裏面シート3との間に吸液性コア4が介在し、両端縁部5, 6および両側縁部7, 8と、着用者30の腹部31の側に位置する前域9および臀部33の側に位置する後域11と、着用者30の股間部32に位置する中間域10とを有する。パッド1Cは、中間域10における両側縁部7, 8間の横寸法と前後域9, 11における両側縁部7, 8間の横寸法とが略同一であり、縦方向へ長い矩形を呈する。パッド1Cには、それを縦方向へ引っ張ることが可能な帯片12と、着用前のパッド1Cの折り畳まれた状態を維持するための止着テープ13とが取り付けられている。

【0041】

帯片12は、前域9の両側縁部7, 8に位置して表面シート2の外面に固着さ

れた内側固定部22と、内側固定部22の間に延びる把持部23とを有する。内側固定部22は、コア4の両側縁4bに重なっている。帯片12は、非伸縮性の纖維不織布が使用されている。帯片12は、実質的に環を形成している。

【0042】

コア4は、パッド1Cの前後域9、11間に延び、表裏面シート2、3の内面に接合されている。コア4の表裏面シート2、3間の厚み寸法は、パッド1Cの前後域9、11と中間域10とで略同一である。コア4の両側縁4b間の横寸法は、パッド1Cの前後域9、11と中間域10とで略同一である。両端縁部5、6では、表裏面シート2、3の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート2、3の内面どうしが固着されている。両側縁部7、8では、表裏面シート2、3の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート2、3の内面どうしが固着されている。止着テープ13は、パッド1Cの後域11における裏面シート3の外面に取り付けられている。

【0043】

図13、14は、折り畳んだ状態にある着用前のパッド1Cの斜視図と、着用状態にあるパッド1Cの斜視図であり、図15は、廃棄するために折り畳まれた着用後のパッド1Cの斜視図である。図14では、仰向けに寝た着用者30を二点鎖線で示す。

【0044】

着用前のパッド1Cは、図13に示すように、前域9と後域11とが互いに当接するように、表面シート2を内側にして中間域10が縦方向へ二つに折り畳まれている。前域9における裏面シート3の外面には、止着テープ13の自由部13bが粘着剤（図示せず）を介して剥離可能に仮着されている。

【0045】

パッド1Cを着用させる手順は、図5のそれと同一である。着用状態にあるパッド1Cは、図14に示すように、中間域10で折れ曲がり、前域9が着用者30の腹部31に当接し、後域11が着用者30の臀部33に当接するとともに、中間域10が着用者30の股間部32に当接する。

【0046】

パッド1Cは、着用者30が帶片12の把持部23を片手34で持ち、帶片12を矢印Y1で示す縦方向外方へ引っ張ることで、パッド1Cの前後域9、11と中間域10とを肌に密着させることができ、排泄時にパッド1Cに体液を確実に吸収させることができる。パッド1Cは、その着用時に、それをパンツにのせてパンツとともに着用する必要はなく、パッド1Cの後域を着用者30の臀部33の下に敷くだけなので、パッド1Cを簡単に着用させることができる。

【0047】

体液で汚れたパッド1Cを廃棄するには、図15に示すように、表面シート2を内側にした状態でパッド1Cを後域11から前域9に向かって縦方向へ折り畳んだ後、帶片12の把持部23を折り畳まれたパッド1Cの外周面にかける。パッド1Cは、帶片12を介してその折り畳まれた状態が維持されるので、パッド1Cを折り畳んだ状態のまま廃棄することができる。

【0048】

表面シート2には、親水性纖維不織布、多数の開孔を有する疎水性纖維不織布、微細な多数の開孔を有するプラスチックフィルムのいずれかを使用することができる。裏面シート3には、疎水性纖維不織布、通気不透液性プラスチックフィルム、疎水性纖維不織布どうしをラミネートした複合不織布、疎水性纖維不織布と通気不透液性プラスチックフィルムとをラミネートした複合シートのいずれかを使用することができる。帶片12、12a、12bには、非伸縮性プラスチックシートや伸縮性プラスチックシートを使用することもできる。

【0049】

不織布には、スパンレース、ニードルパンチ、メルトブローン、サーマルボンド、スパンボンド、ケミカルボンド、エアースルー、の各製法により製造されたものを使用することができる。不織布の構成纖維には、ポリオレフィン系、ポリエステル系、ポリアミド系、の各纖維、ポリエチレン／ポリプロピレンやポリエチレン／ポリエステルからなる芯鞘型複合纖維または並列型複合纖維を使用することができる。

【0050】

伸縮性纖維不織布には、メルトブローンやスパンボンドの各製法により製造さ

れたものを使用することができる。伸縮性不織布の構成纖維には、熱可塑性エラストマー樹脂を溶融、紡糸した伸縮性纖維を使用することができる。伸縮性纖維不織布には、熱可塑性エラストマー樹脂纖維からなる伸縮性かつ疎水性纖維不織布の少なくとも片面に、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエステル、のいずれかの熱可塑性合成樹脂を溶融、紡糸した捲縮纖維からなる疎水性纖維不織布を重ね合わせた複合不織布を使用することもできる。

【0051】

コア4は、ラップパルプと高吸収性ポリマー粒子との混合物、または、ラップパルプと高吸収性ポリマー粒子と熱可塑性合成樹脂纖維との混合物であり、所定の厚みに圧縮されている。コア4は、その型崩れやポリマー粒子の脱落を防止するため、全体がティッシュペーパーや親水性纖維不織布等の透液性シートに被覆されていることが好ましい。ポリマー粒子としては、デンプン系、セルロース系、合成ポリマー系のものを使用することができる。

【0052】

それら図示のパッド1A, 1Bでは、着用後のそれらパッド1A, 1Bを廃棄するときに、パッド1A, 1Bを前域9から後域11に向かって縦方向へ丸め、丸められたパッド1A, 1Bの裏面シート3の外面に止着テープ13の自由部13bを止着してもよい。パッド1A, 1Bは、その丸められた状態が止着テープ13によって維持されるので、パッド1A, 1Bを丸めた状態のまま廃棄することができる。

【0053】

【発明の効果】

本発明にかかる使い捨て体液吸収パッドによれば、帶片を縦方向外方へ引っ張ることで、パッドの前後域と中間域とを着用者の肌に密着させることができ、排泄時にパッドに体液を確実に吸収させることができる。このパッドは、その着用時に、それをパンツにのせてパンツとともに着用する必要はなく、パッドの後域を着用者の臀部の下に敷くだけなので、パッドを簡単に着用させることができ、特に寝たきりの着用者の体液処理用として好適である。

【0054】

帶片が第1帶片と第2帶片とから形成されたパッドでは、それら帶片を縦方向外方へ引っ張ることで、パッドの前後域と中間域とを着用者の肌に密着させることができることはもちろん、第1帶片または第2帶片の引っ張る力を加減することによって、パッドの両側縁部の肌に対する密着の程度を調節することができる。

【0055】

帶片の内側固定部が両側縁部に沿って前域の端縁部から後域の端縁部に向かって延びているパッドでは、帶片によってパッドの前域のみならず、中間域と後域とが縦方向外方へ引っ張られ、前後域と中間域とを着用者の肌に確実に密着させることができる。

【0056】

縦方向へ延びる弾性部材が両側縁部に収縮可能に取り付けられたパッドは、帶片を縦方向外方へ引っ張ることで、弾性部材が縦方向へ伸長するとともに、パッドの両側縁部が着用者の肌に密着するので、パッドの両側縁部からの体液の漏れを防ぐことができる。

【0057】

帶片が弹性的な伸縮性を有するパッドは、帶片を縦方向外方へ引っ張ることで、帶片の内側固定部が縦方向へ伸長するとともに、内側固定部が着用者の肌に密着するので、パッドの両側縁部からの体液の漏れを防ぐことができる。

【0058】

中間域におけるコアの表裏面シート間の厚み寸法が前後域におけるコアのそれよりも小さいパッドでは、前後域と中間域とにおいてコアに段差が形成されるので、帶片を縦方向外方へ強く引っ張ったとしても、後域におけるコアが着用者の股間部に引っ掛かり、パッドが着用位置から外れてしまうことはない。

【0059】

中間域におけるコアの両側縁間の横寸法が後域におけるコアの両側縁間のそれよりも小さいパッドでは、帶片を縦方向外方へ強く引っ張ったとしても、後域におけるコアが着用者の股間部に引っ掛かり、パッドが着用位置から外れてしまうことはない。

[0060]

縦方向へ延びる止着テープが後域に取り付けられたパッドでは、前域における裏面シートの外面に止着テープの自由部を仮着することによって、着用前のパッドの折り畳まれた状態を維持することができる。

【図面の簡単な説明】

〔圖 1〕

一例として示すパッドの部分破断斜視図。

〔圖2〕

図1のI—I—I—I線矢視断面図。

【図3】

図1のI—I—I—I—I—I線矢視断面図。

【図4】

折り畳んだ状態にある着用前のパッドの斜視図。

【図5】

着用状態にあるパッドの斜視図。

【図6】

廃棄するために折り畳まれた着用後のパッドの斜視図。

【図7】

他の一例として示すパッドの部分破断斜視図。

【図 8】

図7のVII - VII線矢視断面図。

【図9】

図7のIX-IX線矢視断面図。

【図10】

他の一例として示すパッドの部分破断斜視図。

【図 1 1】

図10のX-I-XI線矢視断面図。

【図12】

図10のXII-XII線矢視断面図。

【図13】

折り畳んだ状態にある着用前のパッドの斜視図。

【図14】

着用状態にあるパッドの斜視図。

【図15】

廃棄するために折り畳まれた着用後のパッドの斜視図。

【符号の説明】

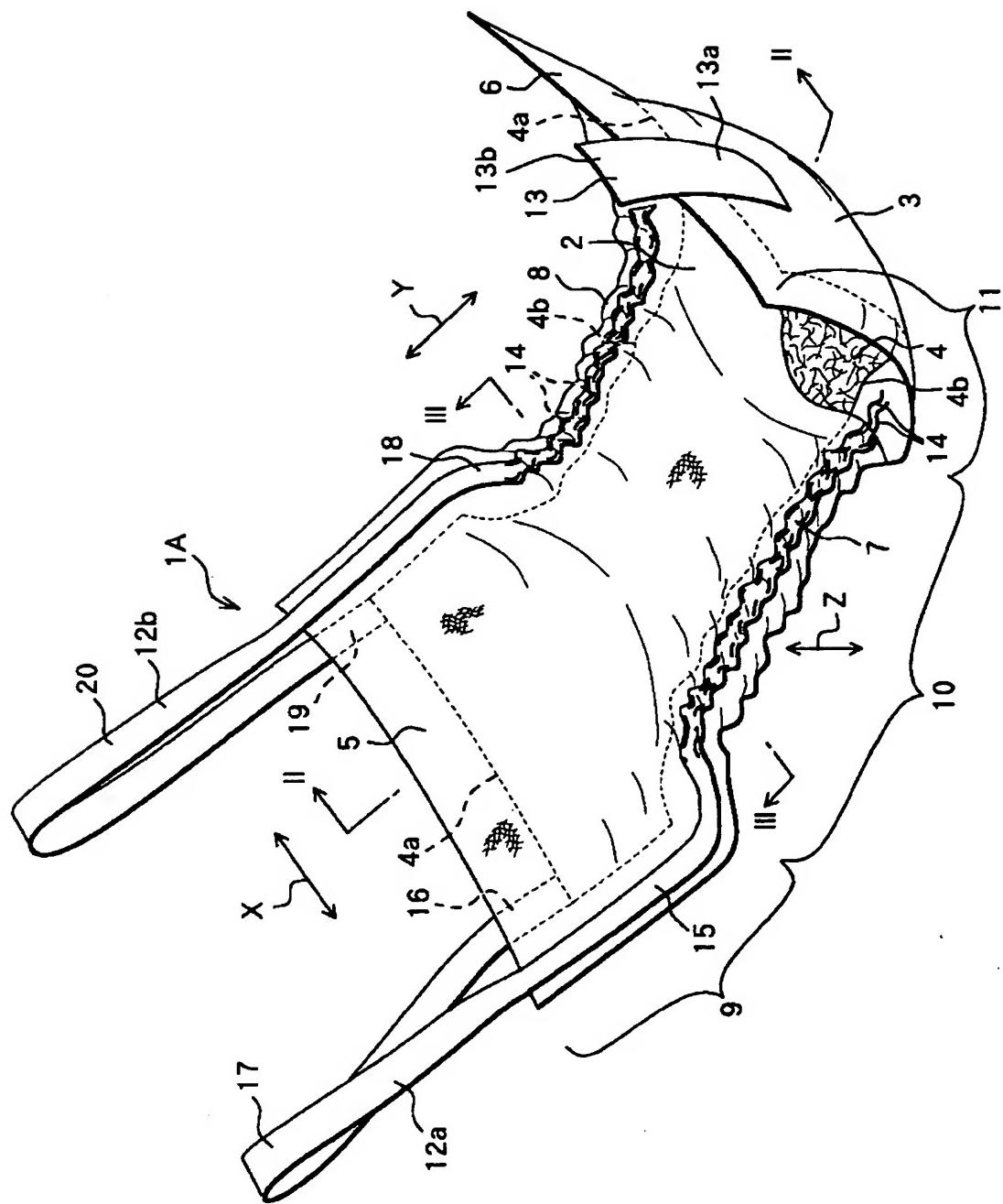
- | | |
|-------|-------------|
| 1 A | 使い捨て体液吸收パッド |
| 1 B | 使い捨て体液吸收パッド |
| 1 C | 使い捨て体液吸收パッド |
| 2 | 透液性表面シート |
| 3 | 不透液性裏面シート |
| 4 | 吸液性コア |
| 5 | 端縁部 |
| 6 | 端縁部 |
| 7 | 側縁部 |
| 8 | 側縁部 |
| 9 | 前域 |
| 1 0 | 中間域 |
| 1 1 | 後域 |
| 1 2 | 帯片 |
| 1 2 a | 第1帯片 |
| 1 2 b | 第2帯片 |
| 1 3 | 止着テープ |
| 1 3 a | 固定部 |
| 1 3 b | 自由部 |
| 1 4 | 伸縮性弾性部材 |
| 1 5 | 第1内側固定部 |
| 1 6 | 第1外側固定部 |

1 7	第1把持部
1 8	第2内側固定部
1 9	第2外側固定部
2 0	第2把持部
2 2	内側固定部
2 3	把持部
L 1	厚み寸法
L 2	厚み寸法
L 3	厚み寸法
L 4	横寸法
L 5	横寸法

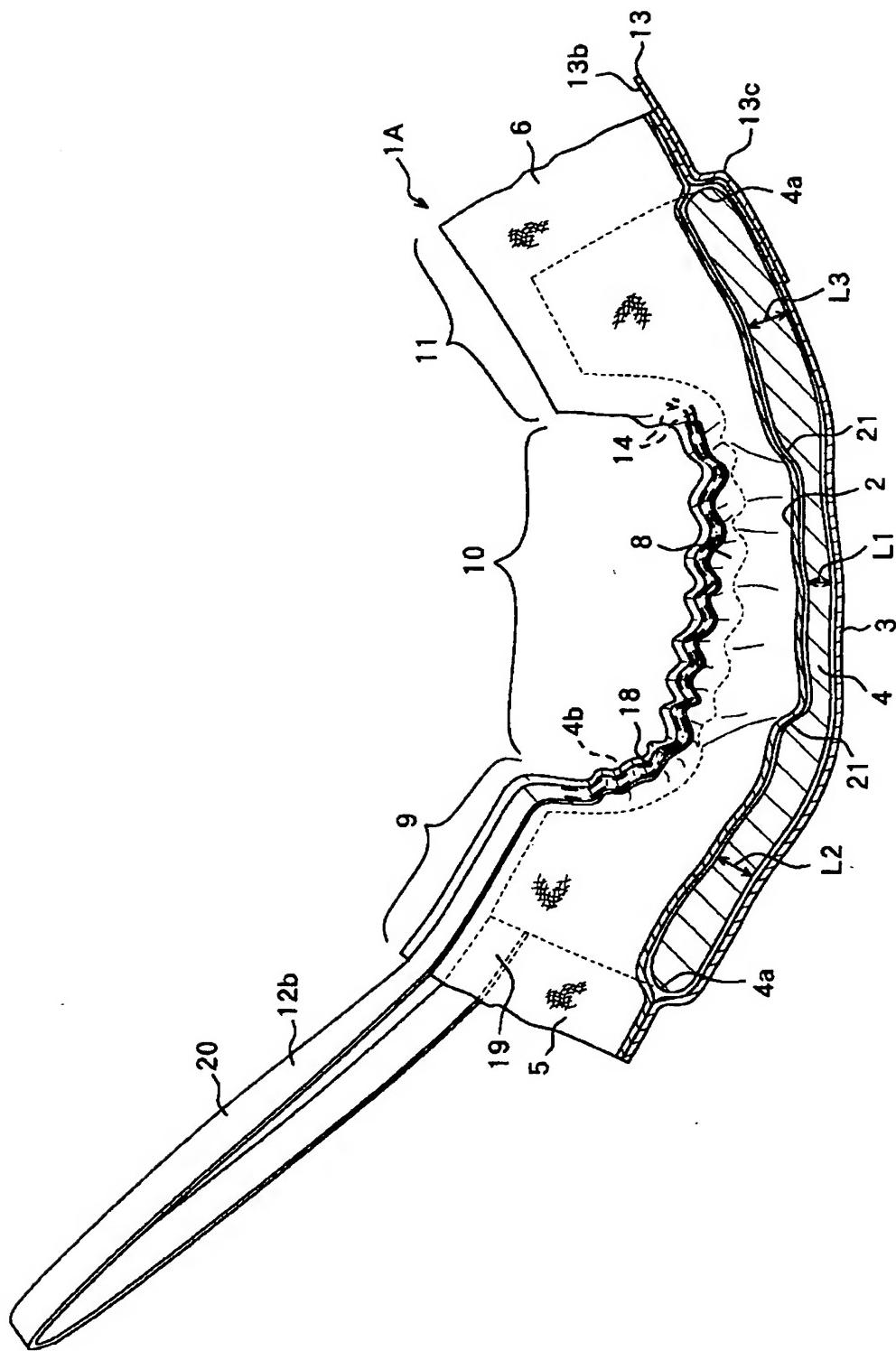
【書類名】

図面

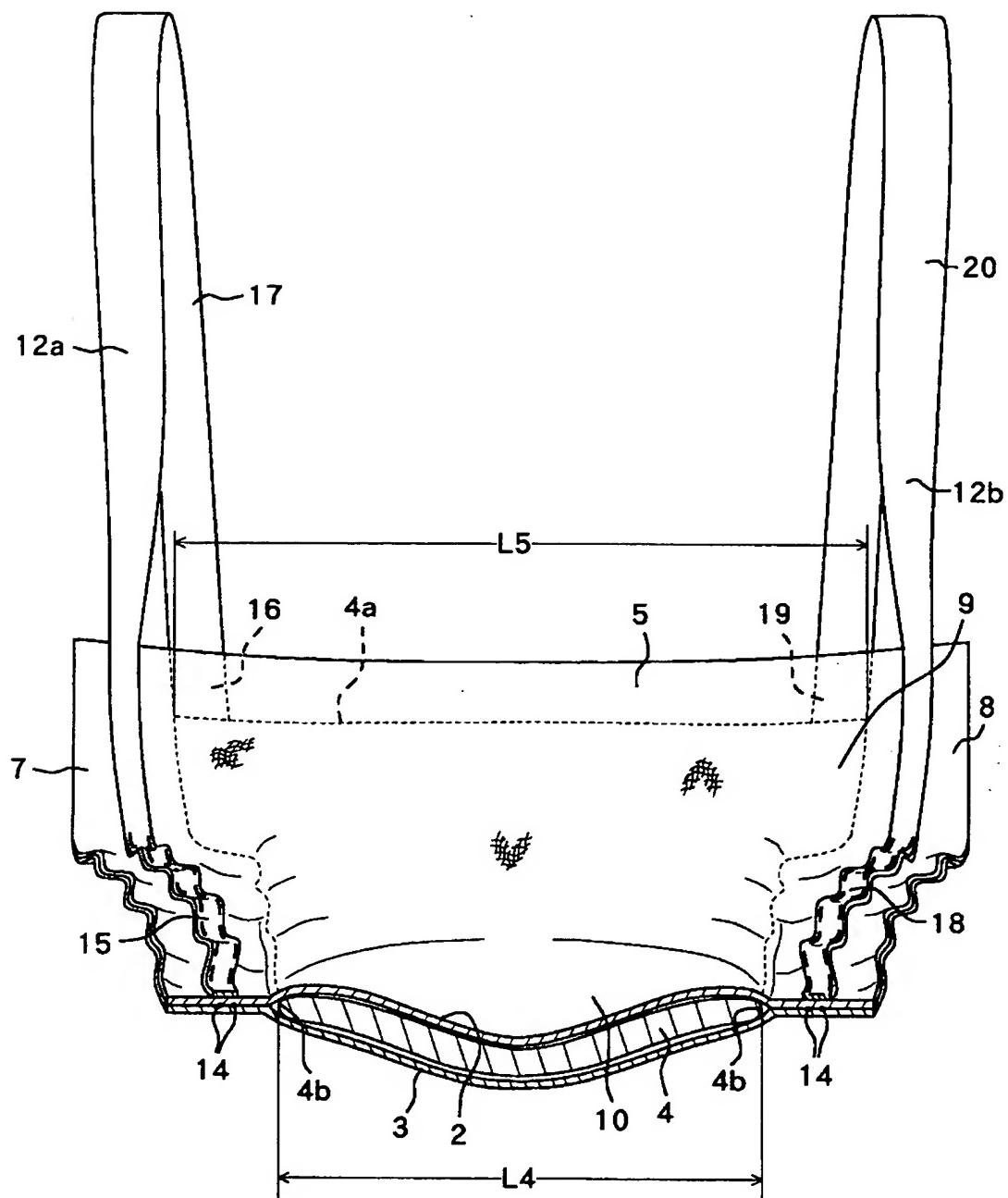
【図1】



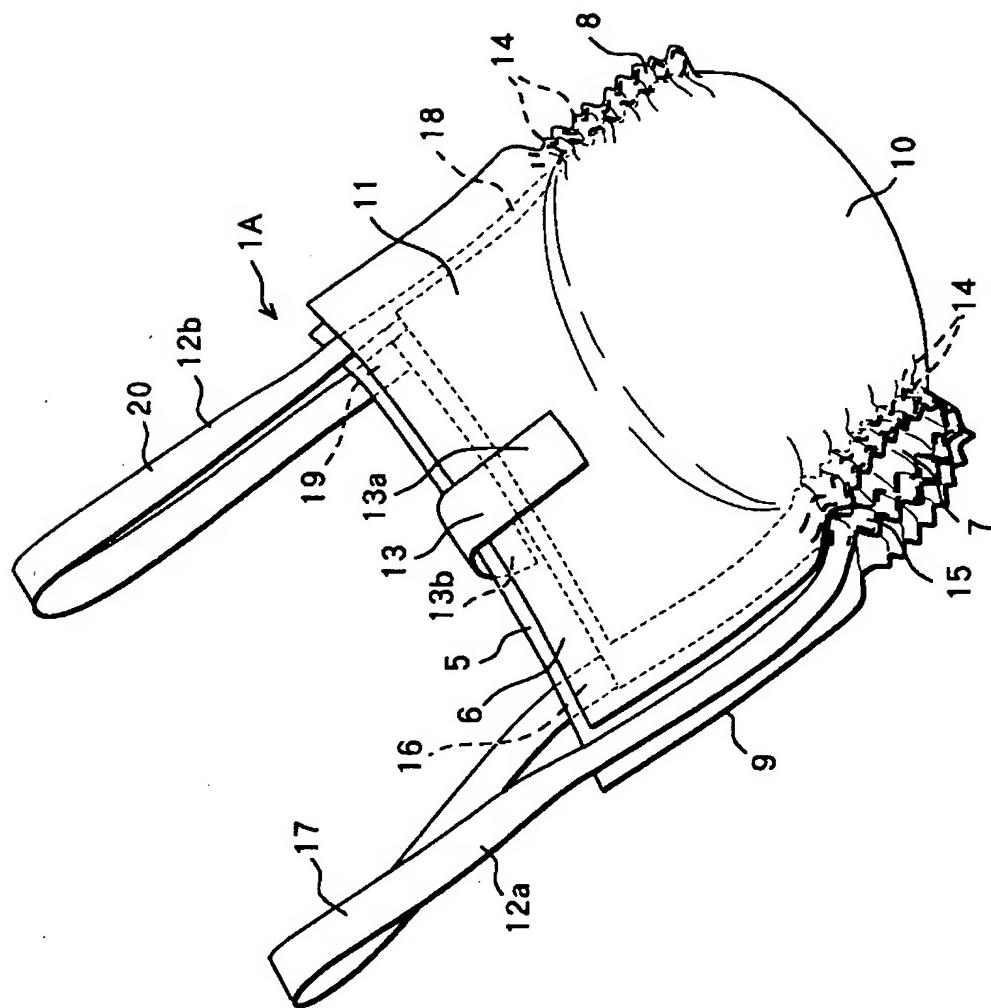
【図2】



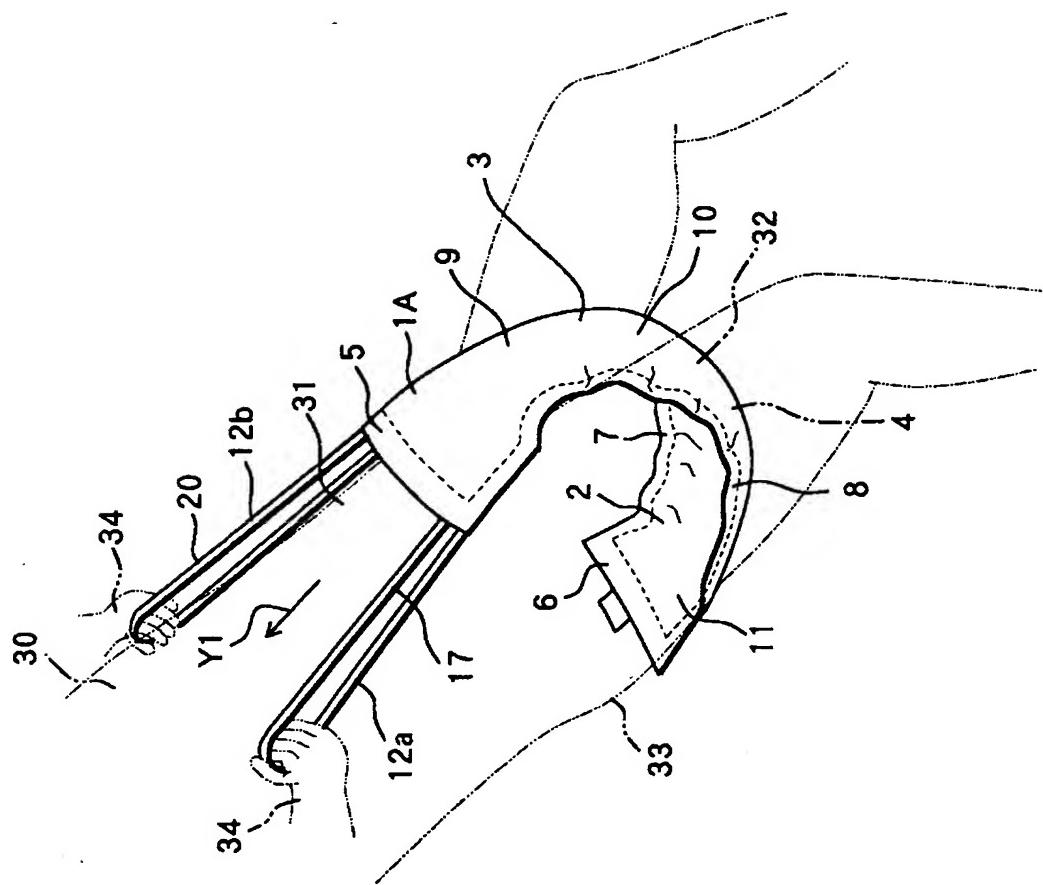
【図3】



【図4】

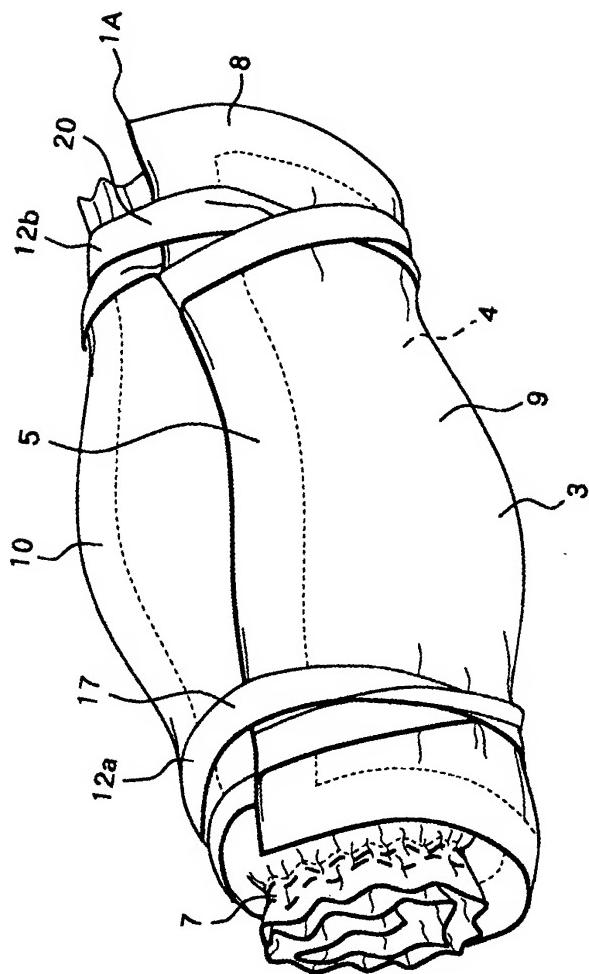


【図5】

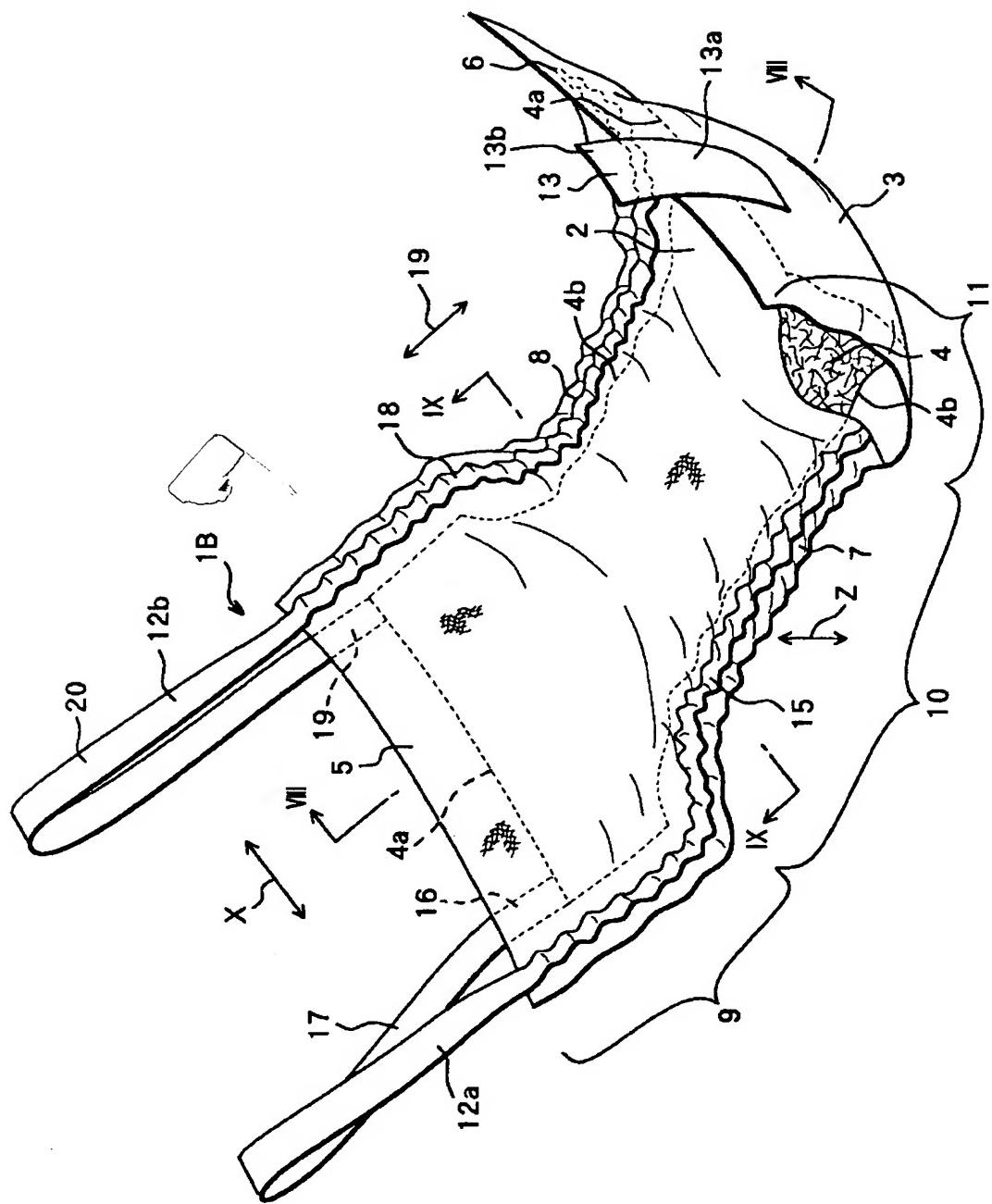


特2002-283242

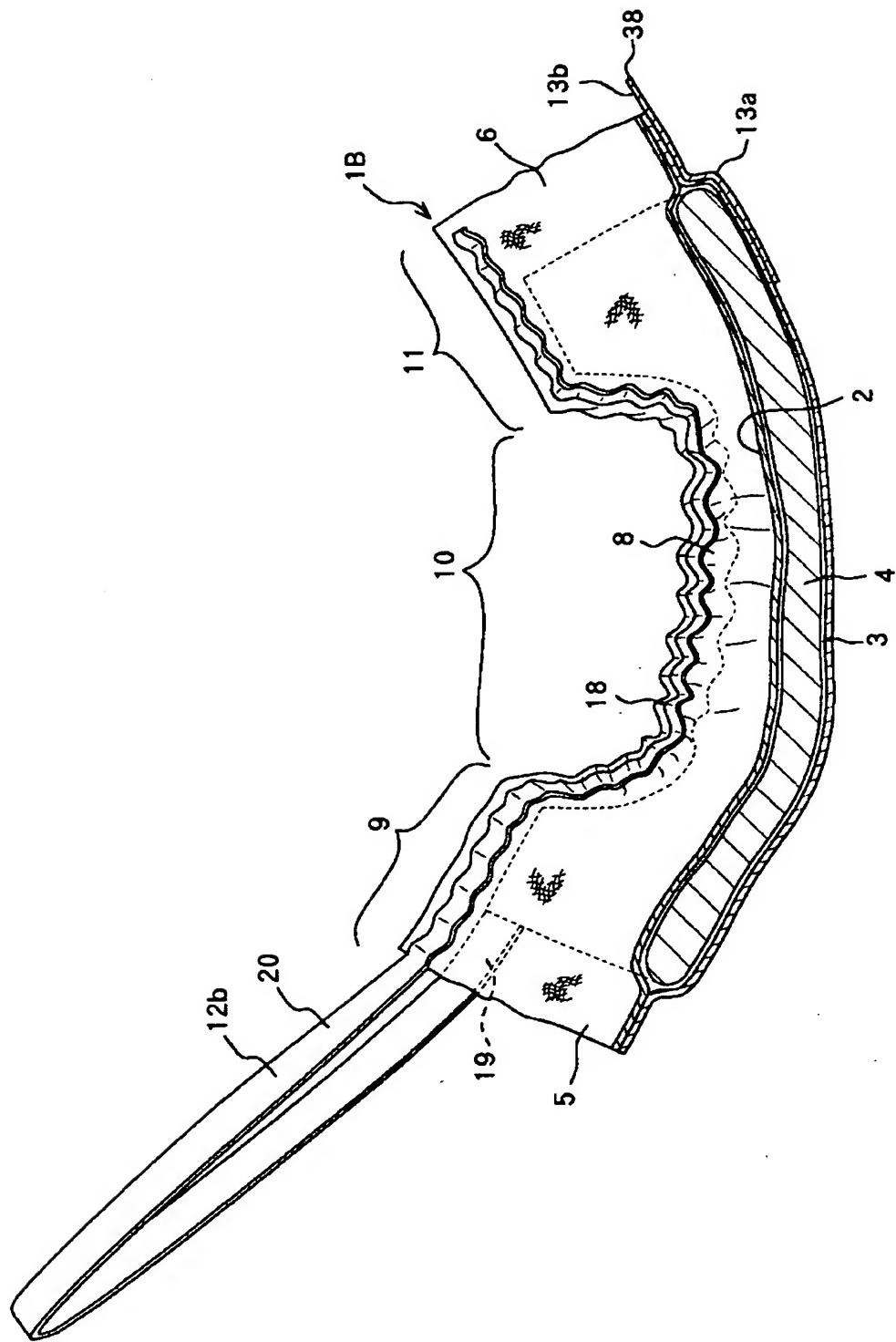
〔図6〕



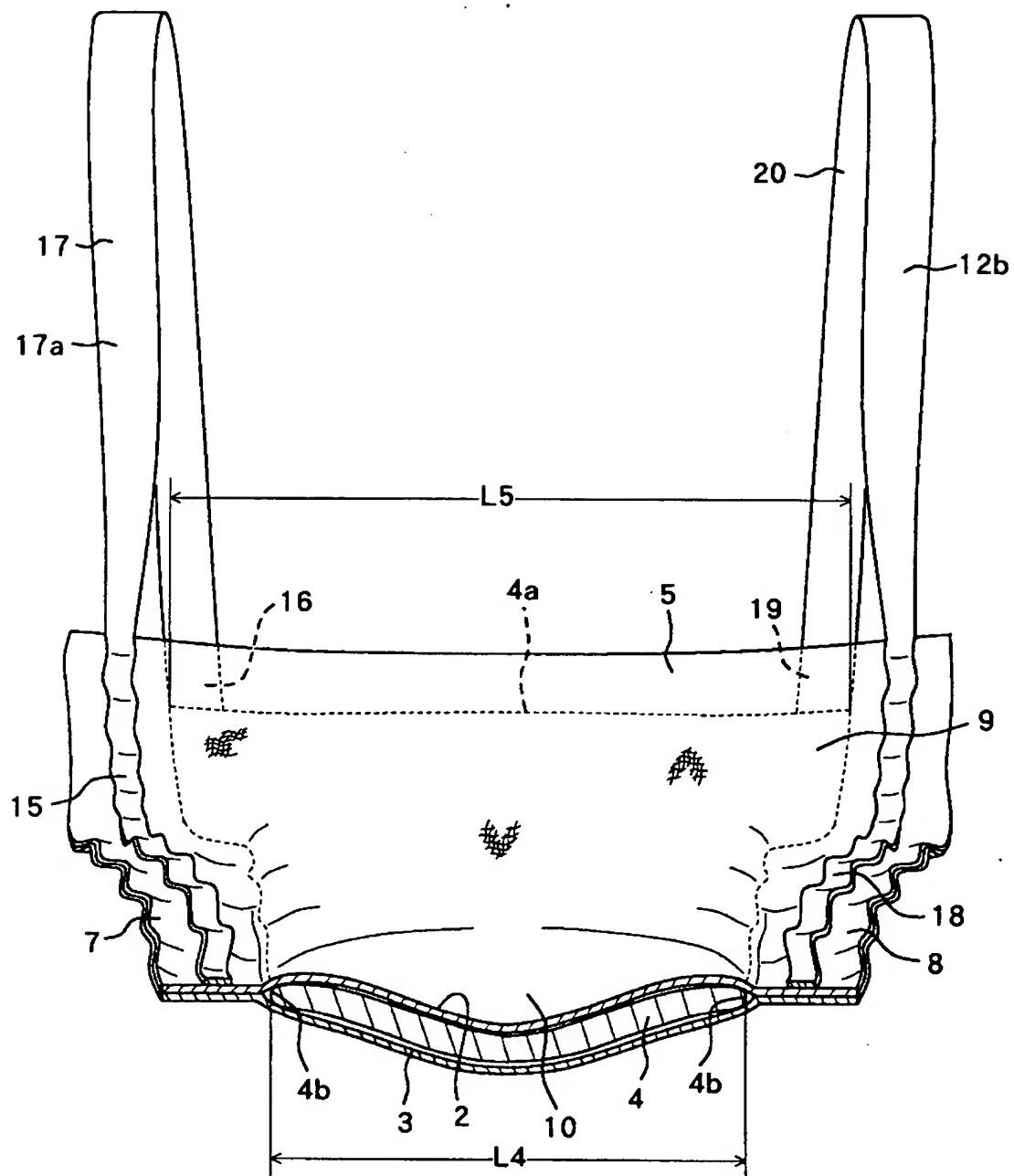
【図7】



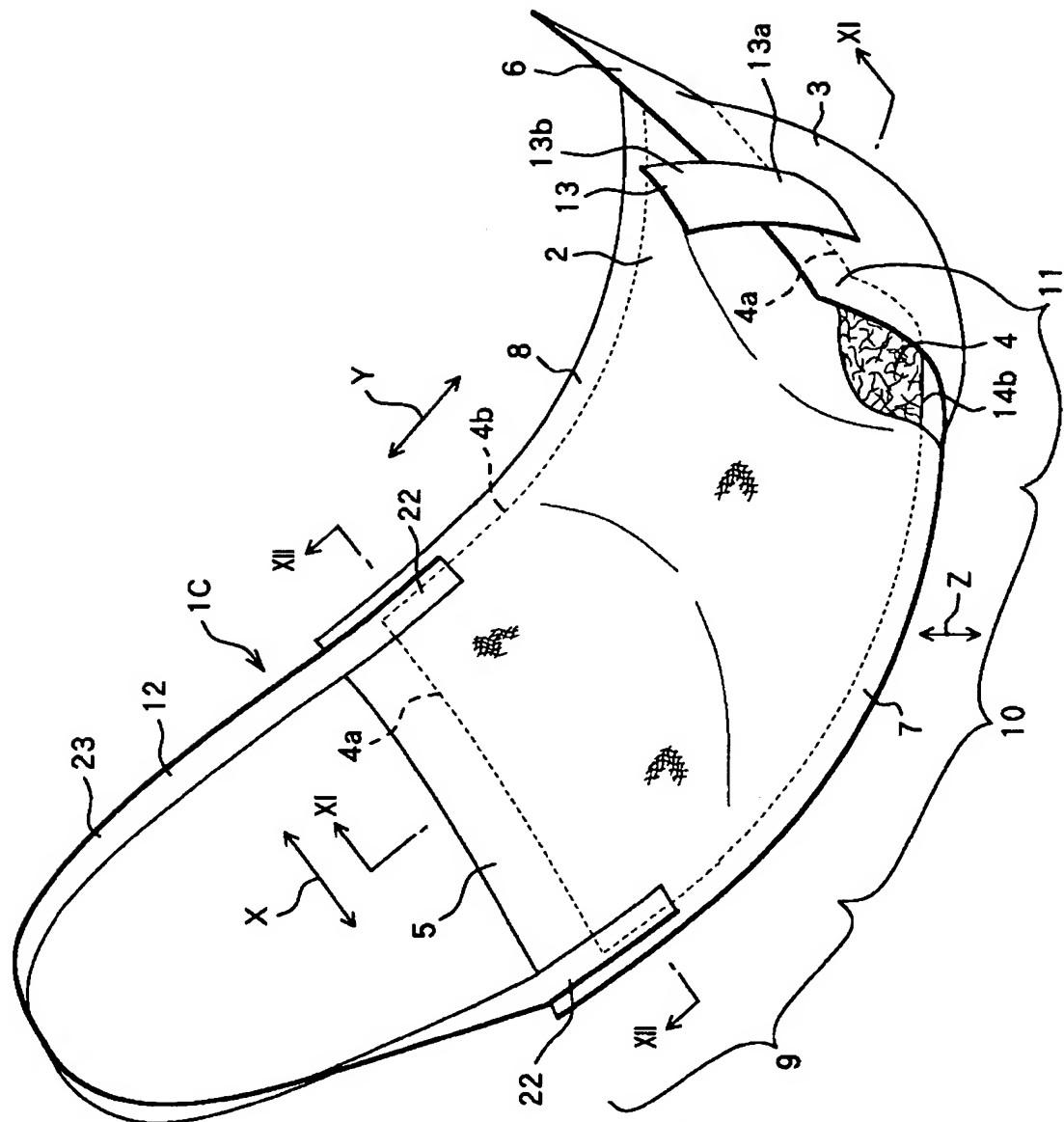
【図8】



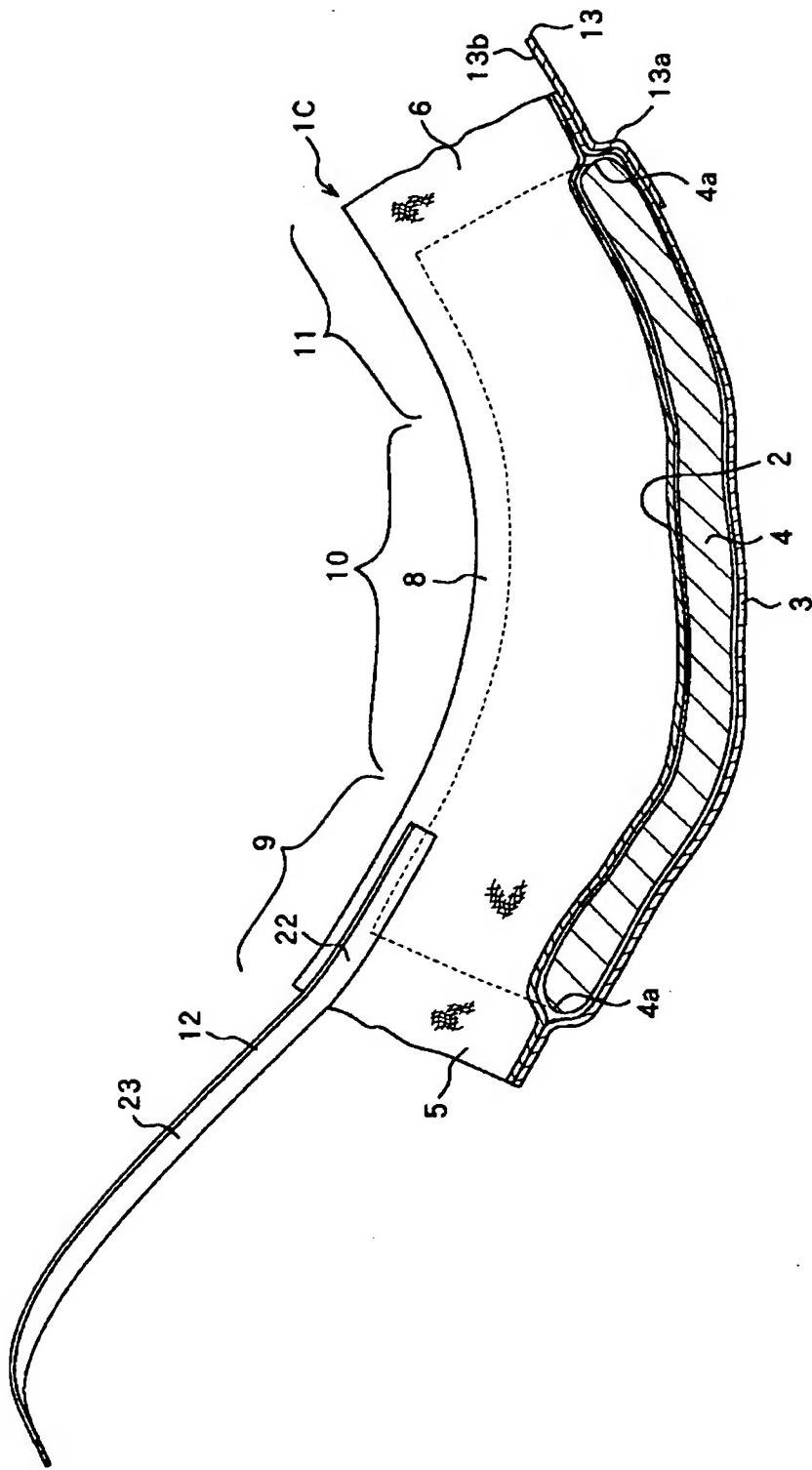
【図9】



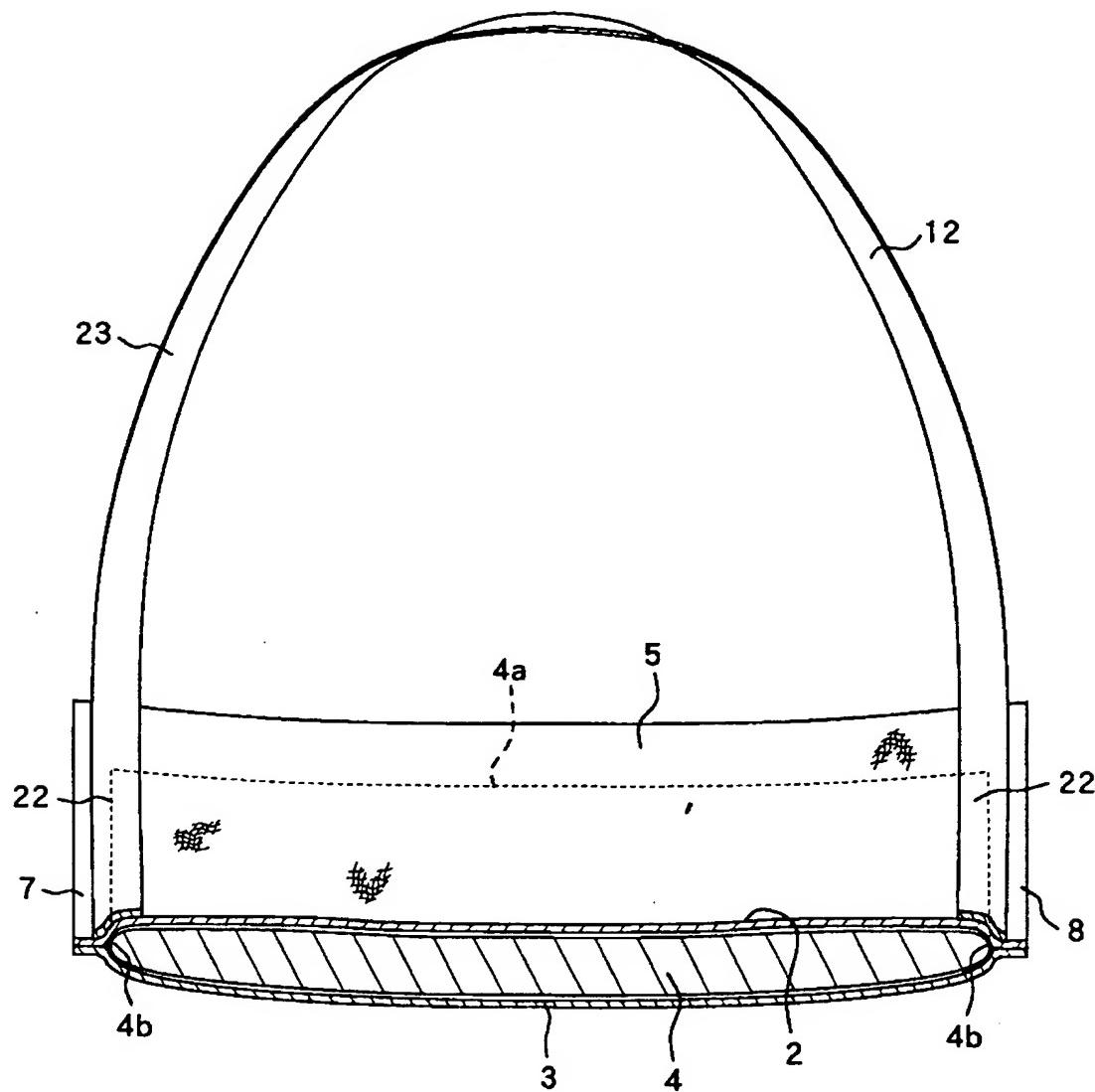
【図10】



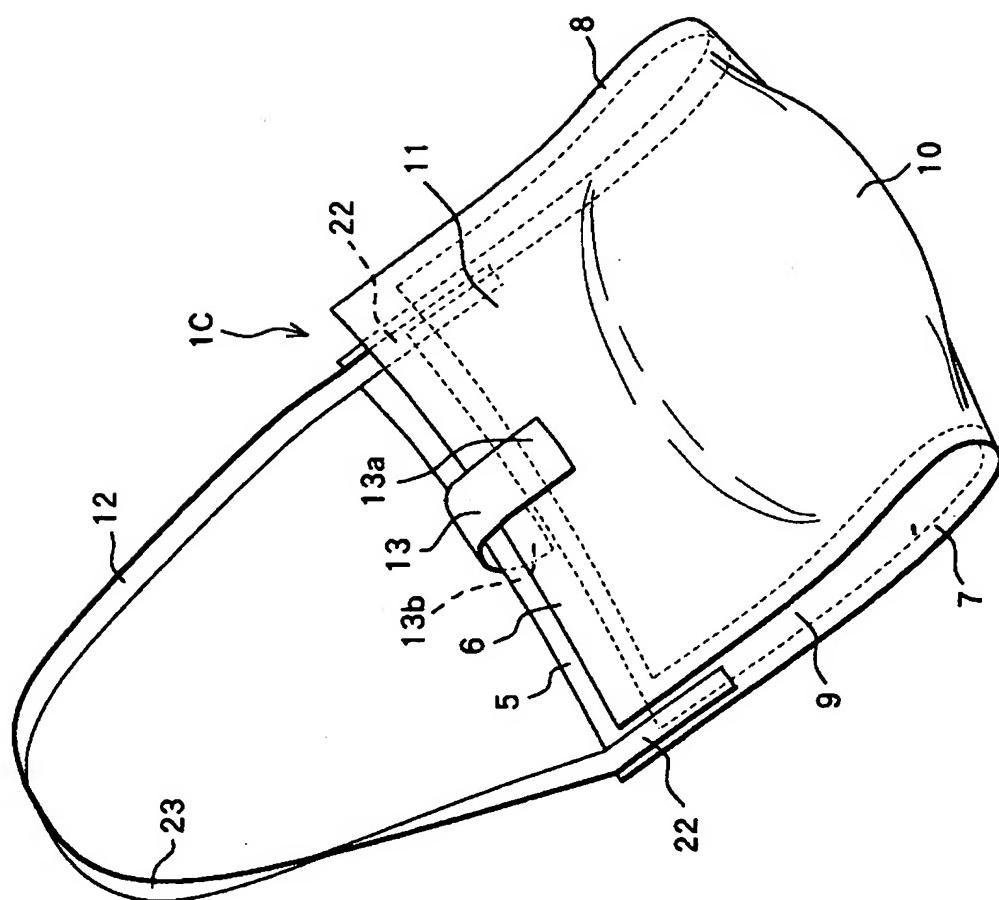
【図11】



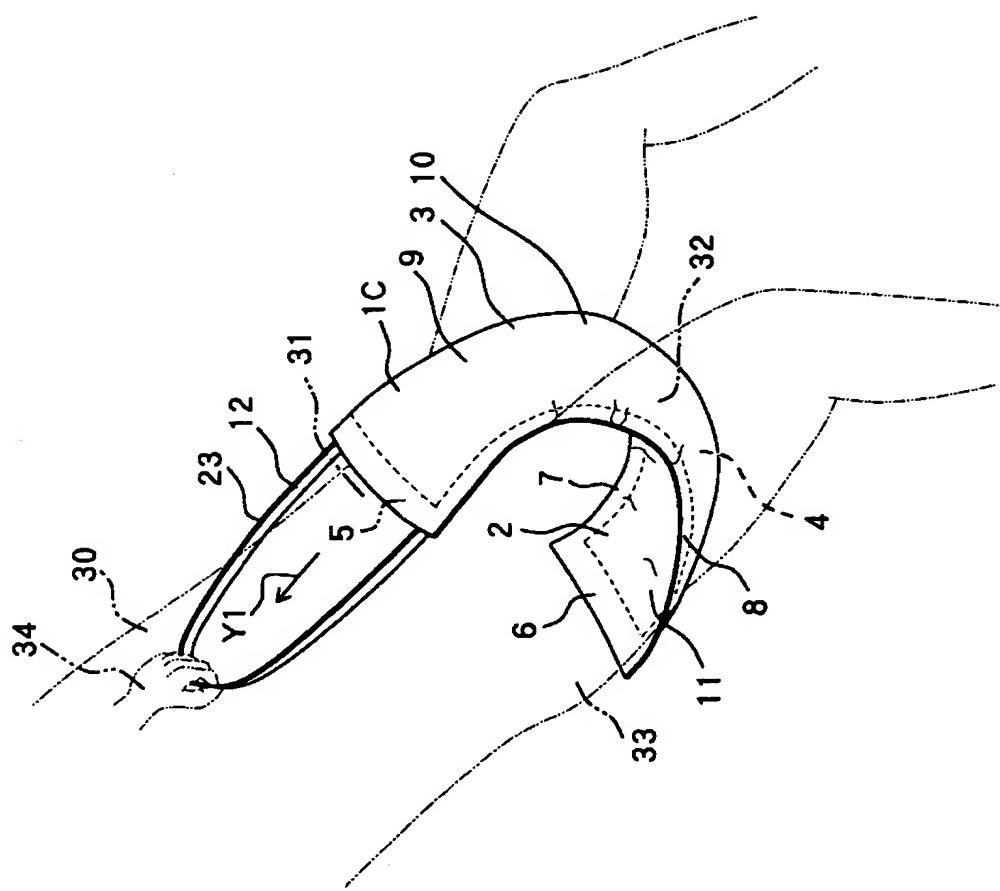
【図12】



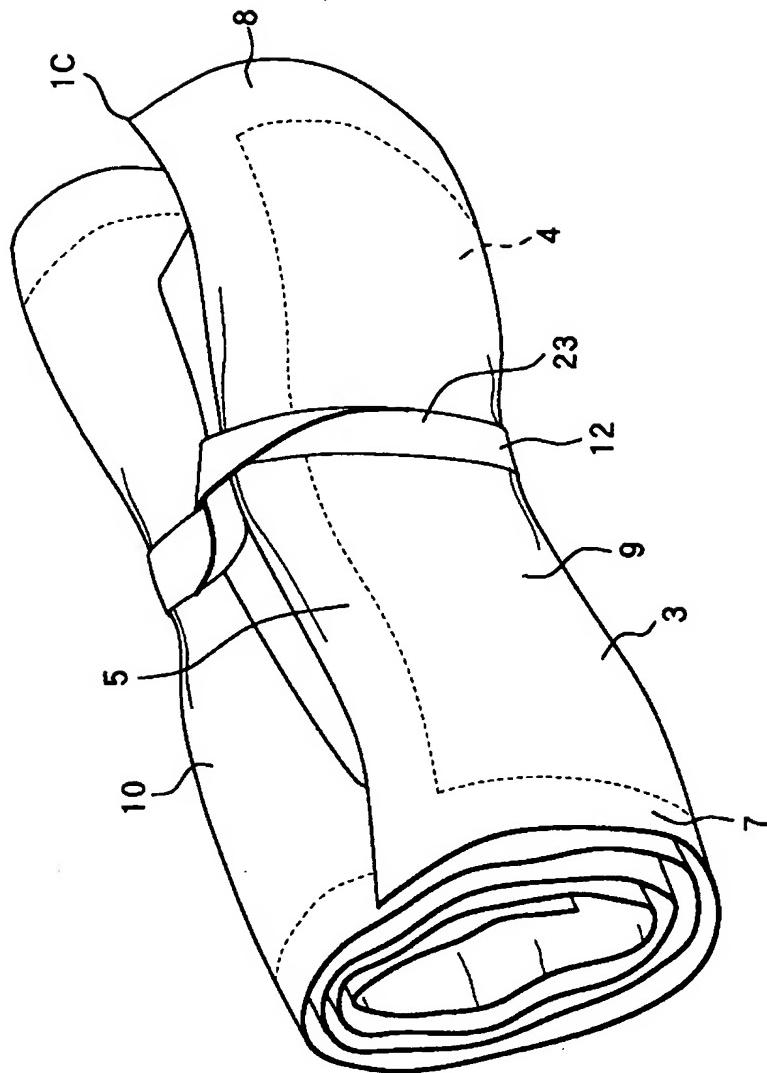
【図13】



【図14】



【図15】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 着用に手間を要せず、パンツを介さずに着用者の肌に密着させることができる使い捨て体液吸收パッドを提供する。

【解決手段】 透液性表面シート2および不透液性裏面シート3と、それらシート2, 3の間に介在する吸液性コア4とから構成された使い捨て体液吸收パッド1Aが、それを縦方向へ引っ張ることが可能な帶片を有し、帶片が、パッド1Aの両側縁部7, 8に配置されて前域9の端縁部5から縦方向外方へ延びる一対の第1および第2帶片12a, 12bから形成され、それら帶片12a, 12bが、表面シート2に固着された内側固定部15, 18と、裏面シート3に固着された外側固定部16, 19と、内側固定部15, 18と外側固定部16, 19との間に延びる把持部17, 20とを有する。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [000115108]

1. 変更年月日 1990年 8月24日

[変更理由] 新規登録

住 所 愛媛県川之江市金生町下分182番地
氏 名 ユニ・チャーム株式会社